

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	12	課題区分	C	令和7年(2025年)5月14日	
横断的な課題		地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局	
地域重点政策		地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
実施機関		南信州地域振興局			担当課	所属		
事業名		南信州シードル振興事業				電話	内線 2264	
						E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	南信州産リンゴを使用した”南信州シードル”のブランディングの要件やPRの方法について弘前のシードル関係者と意見交換を行い、南信州と弘前のシードル関係者による共同イベントの開催について具体的な実施計画の策定について支援する。						
	現状と課題	南信州産リンゴを使用したシードル振興については、現在、NPO国際りんご・シードル振興会や南信州シードル協議会により、シードルをPRする取組が進められているが、令和5年に開催された、イベント「セプテンバーシードルフェス」においても ・南信州シードルコレクション 来場者145名 ・シードルBYO 飲食店9組 酒販店 37本 とまだまだ地元への認知度も低く、PRの成果が出ていない。 そのような状況の中、NPO国際りんご・シードル振興会では、南信州のリンゴを使用したシードルについて「南信州シードル」と称してブランディングを進める計画がある。 昨年度、当局において日本国内においてシードル発祥の地とされている青森県弘前市のシードル関係団体を視察し、その結果を南信州シードル協議会で発表した。 当局の視察をきっかけに、弘前シードル協会並びに南信州シードル協議会から、共同イベントの実施について検討したいとの声があり、実現に向けて支援を行う。						
	内容 (変更後の内容)	・昨年度の弘前市のシードル関係団体の視察を受け、南信州シードル協議会員並びに南信州シードルの関係者と弘前のシードル関係者をつなぐ。 ・南信州シードルの関係者と「日本のシードル発祥の地」弘前のシードル支援団体、醸造所、大手メーカーの状況を一緒に視察し、関係団体の支援状況、生産技術、PR方法などについて意見交換を行った上で、来年度南信州と弘前のシードル関係者による共同イベントの開催について具体的な実施計画の策定について支援する。 視察日程：R7年2月12日～14日 参加者：商工観光課3名、南信州シードル協議会3名、南信州・飯田産業センター1名、長野県観光機構1名 計8名 視察先：青森県産業技術センター 弘前工業研究所、ハチドリ酒店、ニッカウキスキー(株)弘前工場、弘前醸造ワイナリー＆シードルリー ○R5年度 目的：行政の関わり方、PR方法、地域の取組を視察し、南信州シードルの方向性の一助とする。(参加者は行政機関のみ) 視察先：青森県産業技術センター 弘前工業研究所、弘前市役所、弘前シードル工房kimori、(株)JR東日本青森商業開発 ○R6年度 目的：関係団体支援状況、PR方法、生産技術を視察し、R7年度の両県の共催イベントについて意見交換する。(参加者は行政機関に加えて醸造所等も参加する) 視察先：青森県産業技術センター 弘前工業研究所、ハチドリ酒店、ニッカウキスキー(株)弘前工場、弘前醸造ワイナリー＆シードルリー 旅費については、職員分のみとする。						
	事業期間	令和7年2月 ～ 令和7年2月						
事業費	(単位：円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	南信州シードル協議会員と弘前市シードル事業者及び支援機関のマッチング支援		職員旅費(3名分)		212,250		令和7年2月12日から14日(2泊3日)職員3名分の交通費及び宿泊費(飯田市～弘前市)	
	合 計				212,250			
指標及び達成状況	成果指標				目標値		成果	達成状況
	弘前シードル協会と南信州シードル協議会によるイベント計画の策定				1イベント以上		3イベント案	達成
事業実績・成果	令和7年2月12日(水)から14日(金)に、南信州シードル協議会3名、(公財)南信州・飯田産業センター1名と青森県弘前市に訪問し、弘前のシードル醸造者、工場、支援機関を視察した。また、弘前シードル協会と、オンライン及び、現地での意見交換を実施し、弘前シードル協会と南信州シードル協議会の橋渡しを行うことができた。打ち合わせの結果、イベント3案の計画、実施について検討を継続していく。 ○弘前シードル関係視察先(5か所) 青森県産業技術センター弘前工業研究所、ハチドリ酒店、ニッカウキスキー(株)弘前工場、弘前醸造ワイナリー＆シードルリー、POMME/MARCHÉ ○現地意見交換参加者 南信州シードル協議会(3名)、南信州飯田産業センター(1名)、弘前シードル協会(12名) ○イベント案(3案) 1. 南信州の醸造所、販売所などに弘前シードル協会の会員事業者が訪問し、情報交換を行う。 2. 弘前シードル協会で開催しているシードル試飲イベントに南信州の事業者が合同で参加する。 3. 首都圏でのプロモーションについて。(弘前シードル協会との合同、又は単独)。							
今後の方向性	実施を検討している3つのイベント案について、南信州シードル協議会と弘前シードル協会それぞれと連絡を取りながら、現実的に実施可能なイベントとなるように支援を行う。							